

福祉だより



平成 29 年 8 月発行

三岳地区福祉推進協議会

目に飛び込んで来る緑濃い山、暑い日差しの中にもさわやかな風が通り抜けます。

石車に乗らないように注意し、手入れの行き届いた畑の具合を見ながら、福祉推進協議会は、1人暮らし宅と高齢者宅を6月11日から17日にかけて、社会福祉協議会の三岳担当の武田さんや駐在所の後藤巡查部長、山々アートセンターの新井さんの協力も得て、延べ16人で訪問させていただきました。91人の方にお出会いすることができました。山里で静かに農作業にいそしんでおられ、「なんでしたかいなー」と飛んでこられる姿はどこか情緒がありました。また在宅のお家では、玄関を開けるなり、人の多さに驚かれ、後ずさりされたのには恐縮してしまいました。

今回は熱中症予防のための冷えピタの配布と緊急情報キットの配備確認、救急情報用紙の記録更新の勧めを主にお話させていただきました。多くの皆さんが自治会の指示通り冷蔵庫内に配備されているのには感心しました。

皆さん、元気にこの夏を乗り切りましょう！

さてこの機会に、今日までの訪問の中で気に留まったことを紹介します。暮らし方のヒントにして下さい。



(新井厚子さんと桐村キノエさん)

気に留めた一言集

- お父さん（主人）を先に見送ることが今の私の勤め、毎晩大きな声でお題目をあげている。
- 夕方は早めに電気をつける。（今日も元気ですよと、近所の人に知らせる合図！）
- 天気の良い日は玄関先に出て、道行く人に私の存在をアピールしている。
- お互いの近況を電話で尋ねあう
- 風呂は早い時間帯に入る
- 弁当が届く頃には家に居るようにして、配達の人に、顔を合わせるように努めている。
- カーテンの開け閉めを日課にしている。
- 家を留守にするときは近所の人に声を掛けて出かけている。
- 不要不急以外の運転はしない事と張り紙がしてある。

ひとやすみ 前回の答え 三嶽神社は腹痛の神様として信仰されています。

クイズ 三嶽神社参道には1丁目ごとにお地藏様が設置してありますが、何丁目まであるのでしょうか？

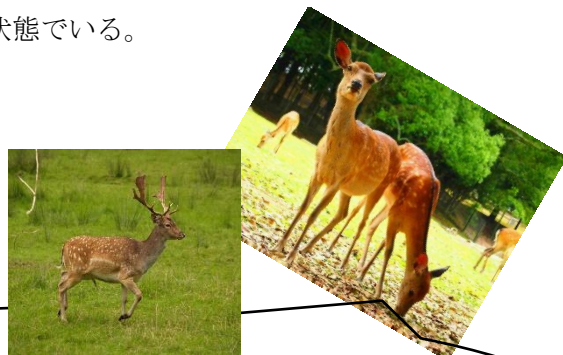
(① 10丁目 ② 15丁目 ③ 18丁目)

* 答えは次回号でお知らせします。

鹿との衝突を防ぐための運転術

鹿に毎年、恒例行事のように当たり、高額の修理代を払っている私が鹿との交通事故を防ぐための運転の心得をお伝えします。

- ◆ 時速 40 キロ台で走り、いつでも急ブレーキをかけられる状態にいる。
- ◆ センターライン寄りを走る。
- ◆ 先頭を譲り車間距離を保って走る。
- ◆ 運転に集中して走る。
- ◆ ウオッチングしている気分で走る。
- ◆ カーブを曲がる度に、そこに鹿が居ると思って走る。



この頃の鹿

奈良公園の鹿のようにお辞儀まではしないが、車が通っても逃げずにじっとこちらを見てる。クラクションを鳴らしても逃げない。
食害で畦の植物も変わってきた。何とかならんかな！

駐在所 後藤巡查部長さんからの助言

- センターライン寄りを走行する。
- 後継者に先頭を譲り走行する。

この時、前を譲った車に合わせて速度を上げて走行したり、前の車と車間距離を保たずに走行したりすると、鹿が急に出てきた場合に対応が遅れたりするため、前の車との車間距離を十分にとり速度は控えめに走行しましょう。

- カーブを曲がる際、特に左カーブの場合は、カーブの出口が見えにくいいため、ブレーキペダルに足を置いておく等、いつでもブレーキをかけられる状態にしておきましょう。

カーブに入ってから減速するのではなく、カーブの手前でしっかりと減速しておく。

ハンドル操作はゆっくりと大きく回す。

視線はカーブの出口を意識して見るようにする。

- そもそも夜は視界が悪く、鹿などを発見することはなかなか難しいものです。なるべく夜は車の運転は避けましょう。
- 夜間走行する場合は、対向車や先行車がなければ、ハイビームで走行しましょう。
- 地域的に車がないと不便なところもありますが、車の運転に自信がなくなった人は、大きな事故に遭う前に免許証の自主返納制度を利用しましょう。

お知らせ

日時 8月26日(土) 午後1時30分から

場所 三岳会館

防災教室開催

○ わっぱ スライド影絵など

○ 防災グッズづくり